

23. 前立腺癌に高発現する UNPC(Ubiquitin-like Nucleoprotein of Prostate Cancer)の同定とその機能解析

¹佐竹宏文、¹田村賢司、²降幡睦夫、¹庵地孝嗣、¹佐古田初音、¹川田千明、¹蘆田真吾、¹執印太郎
¹高知大学医学部腎泌尿器制御学講座
²高知大学医学部病理学講座

【目的】 cDNAマイクロアレイを用い未治療進行性前立腺癌の遺伝子発現プロファイルの解析を行い、そこから抽出されたUNPC(Ubiquitin-like Nucleoprotein of Prostate Cancer)に注目し、その機能解析を行った。

【方法】 細胞・組織免疫染色によりUNPCの発現を検討した。
さらにsiRNAの導入により前立腺細胞株の細胞増殖への影響を観察した。

【結果】 細胞免疫染色では、UNPCは核内に局在していた。前立腺癌臨床検体における組織免疫染色では、正常前立腺上皮細胞に比べ前立腺癌部分においてUNPCの発現上昇を認めた。またUNPC安定発現細胞株を樹立したところ細胞増殖が促進され、siRNAでUNPCをKnock downすると顕著に細胞増殖抑制効果を示した。

【結論】 UNPCは前立腺癌細胞の増殖・生存に重要な役割をもっていることが示唆された。